

Taisei Kougyou Report

2023. 06. 05

令和5年6月5日（月）付けの日本海新聞に、弊社のインドでの取り組みが掲載されました。

本 報 新 報 (第3種郵便物認可)

印の2市 今月引き渡しへ

米子の大成工業

事業展開、準備進める

自社開発の自然浄化汚水処理施設



生活排水処理施設設計・施工の大成工業（米子市米原4丁目、三原博之社長）が自社開発した自然浄化式汚水処理施設（TSS）が、ソロモン諸島でのモデル事業やインドでの普及・実証事業を通じ、衛生・生活環境の改善につながる高い評価を得ている。近く、インドに設置したTSSの引き渡しと最終セミナーが現地で行われる予定で、インドでの事業展開に向けて慎重に準備を進めている。（岡野耕次）

（JICA）の中小企業海外展開支援事業の案件化調査と普及・実証事業として設置されている。インドでコロナ禍で難航したが、コロナの収束とともにモニタリングを再開し、データ集積の結果、バラナシ、ムザフアザナガル両市への引き渡しが大筋で合意した。三原社長らが11日に現地を訪れ、正式に引き渡しが完了する見込み。併せて、現地の自治体関係者やTSSに関心がある日本企業などを対象にセミナーを開催する予定で、今回の普及・実証事業の成果を説明して今後の事業展開への足掛かりとしたい考えだ。

三原社長は「TSSは特に衛生環境が整っていない地域で有効」と手応えをつかんだ様子だ。今後はJICAの支援事業から自社事業となるため、どう売り込んでいくかが課題とし「事業内容に自信があるが、どうかは手探り状態。地道に実績を積み上げ、いい形で事業を広げていきたい」と力を込めた。

「TSSは、トイレから出た汚水などを前処理装置で固体と液体に分離し、通気性のいい土や浸透散水処理資材「タフガード」などを施した土壌処理装置で処理水を土壌に拡散した後、土中の酸菌と微生物で浄化する。無放流方式で下水道がない場所でも水洗トイレを設置できる上、維持管理も容易で耐久性に優れ、半永久的に使うことができる。2014年に環境省のアジア水環境改善モデル事業にTSSが採択され、ソロモン諸島の学校と公衆トイレに設置された。インドではガンジス川流域のバラナシ市の公衆トイレとムザフアザナガル市のシュリラム大の学生寮に、国際協力機構（JICA）の中小企業海外展開支援事業の案件化調査と普及・実証事業として設置されている。インドでコロナ禍で難航したが、コロナの収束とともにモニタリングを再開し、データ集積の結果、バラナシ、ムザフアザナガル両市への引き渡しが大筋で合意した。三原社長らが11日に現地を訪れ、正式に引き渡しが完了する見込み。併せて、現地の自治体関係者やTSSに関心がある日本企業などを対象にセミナーを開催する予定で、今回の普及・実証事業の成果を説明して今後の事業展開への足掛かりとしたい考えだ。

三原社長は「TSSは特に衛生環境が整っていない地域で有効」と手応えをつかんだ様子だ。今後はJICAの支援事業から自社事業となるため、どう売り込んでいくかが課題とし「事業内容に自信があるが、どうかは手探り状態。地道に実績を積み上げ、いい形で事業を広げていきたい」と力を込めた。

ハローワーク職員、訓練体験 再就職支援へ 理解深める



平井知事(右)に
手渡す田中金庫



大成工業株式会社